

# Minutes of TICA Board of Directors - 2025 Annual Meeting Location and Date: Dresden, Germany, August 27 – 29, 2025

1. 同意事項の議題のうち、項目1および項目3を承認することについて、満場一致の同意。異議なし。

1. 議事録承認・修正 - 2025年5月16日～18日 Spring Meeting
2. 議事録承認・修正 - 2025年7月16日 Special Meeting
3. 冬季会合日程設定 - 2026年1月15日～17日 (オンライン開催)

2. 同意事項第2項の承認について、満場一致の同意。異議なし。Schiffは取締役会の受託者責任について説明した。

3. Cardona, Nevarez, Torres.を含む非公開会議への移行に関する全会一致の同意。異議なし

4.非公開会議からの退出に関する全員一致の同意。異議なし

5. van Mullem/Vlachによる動議：Minuet TallsをNew Traitからチャンピオンシップへ昇格させる提案を承認する。

Faccioli, Maddox, Patton, Schiff, Toriggiaが反対する中、動議は可決された。

Maddox：長脚を認めるため、この変更は品種基準で管理すべきである。品種グループを分離すべきではない。このプロセスは継続すべきでない。

Schiff：これは非常に大きな問題であり、特定の品種の原初的な概念 / 定義概念（本例では短脚という定義要素）から大きく逸脱した形質について、単なる毛色や毛長以上の形質を昇格させる前に、さらなる概念化が必要である。

Shon：はい、Minuetのブリーダーが品種保存のために重要と考える点を支持し尊重したいからです。

Vlach/Cherou/Russo：全てをチャンピオンシップに統合する方針には反対ですが、今回のケースでは賛成票を投じます。この決定により猫の命を救える可能性があるためです。

本変更は2026年5月1日より発効します。

6. Motion by van Mullem/Vlachによる、提案された

Minuet Bridegroom/MNL/MTT/MTL) 標準変更案の承認動議。動議は満場一致で可決。

本変更は2026年5月1日より発効。

MX、CY、MXT、CYT (NTからCHへ) の品種昇格審査は、2025年8月29日 (金) に延期された。

7. Vlach/Cherauによる提案：Siberian breedスタンダード 変更案の承認。満場一致で可決。本変更は2026年5月1日より発効。

(HHP) の標準変更は2025年8月29日 (金) に延期された。

注記 - トイボブ (TB/TBL) - ANB、セレンゲティ (SE) - ANB、テネシーレックス (TR/TRS) - CHより品種報告書を受領

8. van Mullem/ArmelによるReg規則33.1.2.3に準拠しない実験的品種の試験的地位を終了させるための動議。満場一致で可決。

本変更は即時発効する。

Experimental **Bambino**  
Experimental **Dwelf**,  
Experimental **Elf**,  
Experimental **Fantasy**,  
Experimental **Foldex**,  
Experimental **Foldex Longhair**,  
Experimental **Genetta**,  
Experimental **Imperial**,  
Experimental **Imperial Longhair**,  
Experimental **Jaguar Sphynx**,  
Experimental **Keetso**,  
Experimental **Kinkalow**,  
Experimental **Kinkalow Longhair**,  
Experimental **Krinkle**,  
Experimental **Krinkle Shorthair**,  
Experimental **Lambkin**,  
Experimental **Scottish Kilt**,  
Experimental **Scottish Kilt Longhair**,  
Experimental **Skookum**,  
Experimental **Skookum Shorthair**.

注記 - その他の実験的品種ステータスは、Reg規則33.1.2、33.1.2.1、33.1.2.2に基づき、2026年11月16日に終了します。

9. van Mullem/Armelによる動議：Genetics committeeが提案した修正を加え、Standing Rule 104.2.1.1を追加した形で、By-Law 14.2の改正、By-Law 17.4.1の追加、及びStanding Rule 104.2.1 (品種健康問題) の追加を承認する。

動議可決 (**Schiff**反対)

**Schiff**：コスト分析も実施上の困難に対処する計画も一切ないまま、これほど広範な規則を 制定するのは無責任である。

本改正は**2025 Membership Ballot**の対象となる。

14.2 義務。各品種 / 品種グループ部門の会員は、当該品種 / 品種グループを後援し、その品種 / 品種グループのための繁殖計画及び包括的な標準を策定する責任を負う。各品種 / 品種グループ

プ部門の会員は、繁殖計画内の健康に関する項目の見直し及び更新を少なくとも5年に1回実施し、必要に応じて当該品種 / 品種グループの標準及び / 又は繁殖計画の改正案及び改訂案を提案する責任を負う

#### 104.2.1 繁殖プログラム

繁殖プログラムは、初心者から経験豊富なブリーダーまでにとって貴重な情報源となり、健康面と体型面の両方における繁殖の指針を提供します。各繁殖プログラムには、当該品種におけるアウトクロス方針、品種の遺伝的多様性に関する専門的な健康セクション、必要に応じて品種固有の健康検査要件の概要が含まれます。主な目的は、科学的に特定された既知の遺伝的問題（適切に飼育された室内猫の健康と福祉に悪影響を及ぼすもの）を特定・管理・軽減することです。繁殖プログラムのその他のセクションには、品種の歴史や品種セミナーの詳細な説明などが含まれる場合があります。この記述は、極端な特徴を強調せず品種の本質的な特性を描き出すことで、バランスの取れた一貫した繁殖を促進し、理想的な個体の育成を目指します。

104.2.1.1 最初の育種プログラムは、2030 Annual meeting,までに、または最初のstandard変更時までに、いずれか早い方までに最終決定されなければならない。ただし、活動中の品種委員会を持たない品種については、延長が認められる場合がある

104.2.2 各Breed/Breed Group Sectionは、3年に1回以上、少なくとも1回のBreed/Breed Group Sectionセミナーを開催することが強く推奨される。

17.4 Breed Committeesの職務。Breed Committeesは、当Breed/Breed Group Sectionの正式な投票権を有する会員から提出された、品種標準の変更、修正、削除に関するあらゆる提案について、当該Breed/Breed Group Sectionの会員を代表する義務を負う。品種委員会に提出された提案は、品種委員会委員長が遺伝学委員会及び規則委員会に審査・承認のために送付する前に、委員会過半数の賛成を得て承認されなければならない。品種委員会委員長は、承認された提案を品種委員会承認後5日以内に前述の委員会に送付し、委員会で承認されなかった提案を提出者に返却する責任を負う。個々の品種委員会メンバーは、前述の委員会または個人に提出された品種提案にコメントを添付することができる。遺伝学・規則委員会の承認を得た提案は、118.2に従い品種/品種グループ部門の投票実施のため事務局へ送付されなければならない。

動議#10参照。会員投票で承認された場合、17.4は改番される

17.4.1 Breed Committeeは、繁殖計画の変更については、breed standardの変更に用いるのと同じの手続きを用いるものとする

### 10. Cherau/Pattonによる動議：

By-Laws17.4項「役員の職務（品種委員会ニュースレター）」の改正案を承認し、2026/2027年ショーシーズン終了時より施行する。動議は満場一致で可決。本改正は2025年会員投票の対象となる。

#### 17.4 品種委員会の職務

**17.4.1** Breed/Breed Group Sectionの正会員から提出されたBreed Standardの変更、修正、削除に関する提案について、当該部門の会員を代表する。品種委員会に提出される提案は、品種委員会委員長が遺伝学委員会及びRules Committeesに審査・承認のために送付する前に、委員会過半数の賛成を得て承認されなければならない。Breed Committee Chairpersonは、承認された提案を品種委員会承認後5日以内に前述の委員会に送付し、委員会で承認されなかった提案は提出者に返却する責任を負う。個々のBreed Committeeメンバーは、前述の委員会または個人に提出された品種提案にコメントを添付することができる。Genetics・Rules Committeesの承認を得た提案は、118.2に従いBreed/Breed Group Sectionの投票実施のため事務局へ送付されなければならない

**17.4.2** 理事会が策定したStanding Rulesに従い、定期的にBreed/Breed Group Sectionの会員及び理事会に対し、当該品種に関連する事項を通知すること。

上記が会員投票により承認された場合、現行の107.4を107.4.1に改番し、常設規則107.4.2を追加する

107.4.1 Breed Committeeの委員に対する投票は事務局が実施し、その結果はBreed Committee Chair.に報告されるものとする

107.4.2 Breed Committeesは、展示シーズン終了後60日以内に、breed section/grou会員および理事会に対し、年次電子ニュースレターを提供することを強く推奨される。本ニュースレターの目的は、会員に対し、品種固有の動向、健康問題、立法問題、標準改訂、教育トピックについて情報を提供することである。登録状況や会員数の推移を強調することも可能である。実施は2026/2027年ショーシーズン終了時より開始する

11. Faccioli/Armelによる、Show Rule 23.6条（出陳拒否）改正案の承認を求める動議。

Faccioli賛成、Shi、Toriggia棄権により、動議は否決された。

12. van Mullem/Faccioliによる動議：

Show Rule 216.12.12（失格となるDBEキャット）追加案を承認する。

動議可決（Cherau, Faccioli, Maddox, Russo, Schiff反対）

**Faccioli:**本規則は概念上の問題がある。目の色の誤りを含む「毛色上の欠点」は失格理由ではなく、全頭審査対象となるべきである。

**Cherau/Maddox/Russo**：これは繁殖計画と品種基準に属する事項だと考える。

**Maddox**：尾の許可に関する変更は品種基準で管理すべきだ。品種グループを分離すべきではない。このプロセスは継続すべきでない。

この変更は2025 Membership Ballot 2025の対象となる。

216.12.12 純白の猫を除き、solid/tortie/tabby/silver and smoke divisionsにおいて、伝統的またはセピアのカテゴリーに分類される青眼または異色眼の猫は、理事会承認基準による許可がない限り失格とする。

### 13. van Mullem/Vlachによる動議：

#### Reg規則33.11 (Trait or Breedのチャンピオンシップ取消) 追加提案の承認。

Armel, Cherau, Faccioli, Maddox Schiffが反対する中、動議可決。

Maddox：科学的に裏付けられた新たな知見を支持し、猫の健康問題を引き起こす形質を許可しないことに賛成する。これには品種形質に対する過去の許可取消も含まれる。ただし、より具体的な基準と意思決定の定義が必要です。

Schiff：チャンピオンシップ資格の剥奪は、TICAのみならず猫愛好界全体、おそらく他の動物愛好界においても前例のない措置であり、熟慮と十分な議論、そしてその影響を消化し熟考する時間なしに安易に実施すべきではありません。さらに、現在のショーエントリー獲得の困難さを考慮すれば、展示可能な猫が減少することは最も避けたい事態です。この規則は、ある特性が有害であるという科学的証明を要求するものではなく、単に「何らかの証拠が査読済みであること」などの「示唆」を求めているに過ぎない。「有害な」特性や猫を排除するというこの概念全体は、政府や動物権利団体が次のように我々を非難する口実を与えるだけである：見てみろ、彼らは猫が病気で不健康だと知っている。全ての品種とブリーダーを禁止すべきだ

この変更は2025 Membership Ballot の対象となります。

簡潔さを期すため、提案内容は付録をご参照。

### 14. Faccioli/VlachによるStanding Rule 106.4.1 (委員会構成員) 改正案の採択を求める動議。全会一致で否決

### 15. Faccioli/van MullemによるStanding Rule 601.2.11 (賞における子猫の所有権) 改正案の承認を求める動議。全会一致で否決。

### 16. Mullem/Vlachによる動議：

用語集に「ドミナント・ブルー・アイズ (DBE)」の定義を追加することを承認する。動議は満場一致で可決。

注記 – UCD 76.1/ホワイトとの組み合わせ：パーティカラーに関する修正は提案に含まれるべきでなかった。理事会は用語集へのDBE定義追加のみを採決した。

用語集への追加：

DBE：DBEはDominant Blue Eyes (優性青眼) の略称です。DBE猫は、必ずしもそうとは限りませんが、通常、白やパーティカラーではない伝統的な毛色またはセピア色の猫において、片目また

は両目が青い特徴を示します。DBEにはいくつかの種類があり、PAX3などの遺伝子における異なる変異によって引き起こされます。これは、純白猫やパーティカラー猫の原因となる変異が生じるKIT遺伝子とは異なります。DBE遺伝子もまた、顔や胸部に最もよく見られる白い斑点を引き起こすことがあります。

Adlerが会議に参加した。

Harrisonはフォローアップ報告書、World Cat Congress meetingの進捗状況を報告

Van Mullemは、欧州における犬猫福祉に関する歴史的経緯と現行の決定事項について最新情報を提供した。詳細は付録参照。Lorimerは遺伝的健康と福祉に関するメモを提示した。詳細は付録参照。

Maddoxは理事会との継続的な対話型演習を継続し、TICA猫の健康と福祉プロジェクトが最大の影響力を発揮できる高次領域の探索と優先順位付けを行った。詳細は付録参照。

#### 17. 本日午後5時39分（中央ヨーロッパ時間）の休会に関する全会一致の同意。異議なし。

2025年8月28日（木）午前8時07分（中央ヨーロッパ時間）、**Vicki Jo Harrison**会長により会議が開会された。

2025年8月28日（木）、*Adler, Dickie, and Hawksworth-Weitz*は出席しなかった。

#### 18. Cardona, Lopez, Nevarez, a Torres.を含む非公開会議への移行に関する満場一致の同意。異議なし。

#### 19. Cherau/Russoによる、**Elaine Hawksworth-Weitz**の会員資格及び取締役会における議席の停止を求める動議。Vlachが棄権する中、動議は可決された。

#### 20. Schiff/Shonによる動議：

Northwestディレクターの行政権限（approve shows及びNorthwestに必要なその他の行政業務）をVicki Jo Harrisonに委任する。

Schiff/Vlachが採決を要求し可決。

Faccioli、van Mullemが反対する中、動議は可決された。

#### 21. Cherau/Faccioliによる動議：

Chris UnangstのTICA By-Law122.6.2.1項に対する継続的な違反行為を受け、その資格停止期間を2025年5月開始の5年間に延長する。課されたその他の懲戒処分は継続され、5年間の終了後に保護観察期間が開始される。本動議は満場一致で可決された。

Lopezが審査委員会の報告書を提出した。

#### 22. Faccioli/Russoによる動議

Iris Zink.が提出した上訴について何らの措置も取らないこと。

動議は可決、（Schiffが反対）

Schiff：審査委員会が決定の根拠とした情報及び文書を精査せずに判断を下すことはできません。規則に従い問題が上訴される場合、審査のために全ファイルが提供されるべきだと考えます。そうでなければ、公平かつ中立な審査は不可能でしょう。

23. Faccioli/Shonによる動議：

審査委員会に対し、Iris Zink'の移籍試験を1年間遡及適用するよう指示する。動議は満場一致で可決された。

Lopezは非公開会議を免除された。

24. Cherau/Pattonによる動議：

Hiroshi Ishizawa vs Kazumi Ichikawa-Frostの苦情申し立てを、判決文の公認翻訳が提供された後、またはIshizawaが登録に関する言及を含む判決を裁判所に請求できる状態になった後、または係争中の控訴が解決された後に延期する。

Ishizawaはこれらのいずれかの事象が発生した際にTICAに通知し、その後当件を議題に復帰させるものとする。動議は満場一致で可決された。

25. Faccioli/Pattonによる動議：

Mayuko Kawahara vs Emiko Miyagawa Koyama Emiko Miyagawaに関する苦情について、Miyagawaからの要請に対し何らの措置も取らないこと。動議は満場一致で可決された。

NevarezがCCO執行部報告を提出した。

26.の非公開会議退出について全会一致で承認。異議なし。

COOによる公開報告は2025年8月29日（金）に延期。

注記 - 年次報告書及び動向報告書を受領済み。

料金値上げ予算案（一律10%増額+クラブ会員5%還元）は撤回され、委員会を設置して案を再検討の上、理事会に再提出する。

27. Vlach/Toriggiaによる動議

現行プロジェクト完了後、TFMSにブリーダークライアントと猫リンク機能を追加する予算案を承認する。動議は否決（賛成：Shi, Toriggia Vlach）

28. Cherau/Faccioliによる、理事会のメンバーが最大7泊分のホテル料金を支払うことを承認する動議。van Mullemが反対したが、動議は可決された。

29. Cherau/Faccioliによる動議：

会議に出席する理事会メンバーに対し、航空運賃及び旅費の全額支給を行うこと。本動議は満場一致で可決。

30. Cherau/Faccioliによる動議：最大5日間の日当82.00ドル、および最大3日間の旅費61.50ドルを承認する。Naumenko、van Mullemが反対したが、動議は可決された。

31. Cherau/Faccioliによる動議

Judging Committee Chairに対し、最大2泊分のホテル費用を支払うことを承認する。

動議は満場一致で可決。

32. Cherau/Faccioliによる動議：

遺伝学委員会委員長のホテル宿泊費（最大2泊分）の支払いを承認する。動議は満場一致で可決

33. Vlach/van Mullemによる、Kurt Vlach / Europe South Regionへの2025 Winter Meeting参加チケット代金（2,000ユーロ）の償還を求める動議。

（棄権：Shi, Tasaki Vlach）動議は否決された。

34. Vickie Fisherの発言を許可するため全体委員会に移行する旨の全会一致の同意。異議なし。

Vickie Fisherが財務報告書を提出。別添参照。

注記 – 財務報告書を受領済み。

Chuck Spavin、Kevin Monn, (RBC Wealth Management financial advisors) が、

TICAの投資ポートフォリオに関する最新情報を報告した。

35. Faccioli/Toriggiaによる動議：

RBC Wealth Managementの金融アドバイザーからの提言を受諾する

動議は可決、（Vlachが反対）

**London**– 保有継続、残高を40万ドルに削減；**Polen** – ポジション売却（約5万ドルの実現利益）；新規運用会社（キャピタル・グループ・インターナショナル）との契約 – 15万ドル；残額を債券ラダーに追加；ポートフォリオ総手数料 年率0.39%。

36. Schiff/Faccioliによる動議：

TICAが理事会に対し、避けられない手数料を含む全額を経費として償還すること、およびTICAが償還金を送金する際に最も費用対効果の高い方法を使用すること。満場一致で可決された。

注記 – 理事会経費精算方針は、受領者が支出した全額を受け取することを基本とする。やむを得ない手数料が発生する場合、TICAが当該手数料を負担し、TICAへの送金において最も費用対効果が高く便利な方法を用いるよう努めること。

37. Vlach/Pattonによる動議Jeff Shiが2025 Annual meetingへの渡航に要したビザ費用を償還すること。本動議は満場一致で可決。

38. Cardona, Nevarez, Torresを含む非公開会議への移行に関する全会一致の同意。異議なし。 Harrison非公開会議のフォローアップ報告書を説明した

39. Faccioli/Armelによる動議：

Tracy Hiselを北西部暫定地域ディレクターに任命する。動議は満場一致で可決。

40. van Mullem/Schiffによる動議：

本リスト記載の血統書上の猫に関する一切の処理を、CFAからの追加確認が得られるまで保留とする。

元の血統書に問題が確認された場合、TICAは本リスト及びCFAから追加で受領したリスト記載の猫の登録ステータスをファウンデーションに変更する可能性がある。動議は満場一致で可決された。簡略化のため、対象猫リストは付録を参照のこと。

41.非公開会議からの退出について、全員一致で同意。異議なし。

42.本日午後6時19分（中央ヨーロッパ時間）の休会に関する全会一致の同意。異議なし。

2025年8月29日金曜日 中央ヨーロッパ時間午前8時11分、Harrison会長により会議が開会された。

Dickie、Adlerディッキーとアドラーは2025年8月29日金曜日に出席しなかった。

43. Vlach/van Mullemによる動議：

2028 Annual,2028として提案されたスロベニア、ES地区のBlue Danube Cat Clubを承認する。動議は満場一致で可決された。詳細は付録参照

44. van Mullem/Armelによる動議：

Manx/Cymric TailedをNew Traitからチャンピオンシップへ昇格させる提案を承認する。

投票は同数となり、Harrisonが同数決を破るために賛成票を投じ動議は可決され、Cherau, Faccioli, Maddox, Patton, Schiff, Shi, Toriggiaが反対した。

この変更は2026年5月1日より発効する。

45. van Mullem/Armelによる提案：

Manx Breed Group (MX/CY/MXT/CYT) standard変更案の承認を求める動議

動議可決 (Schiff反対)。

**Cherau/Armel/Shon/van Mullem** : ショー規則216.12.4に基づき、尾の欠陥を必須失格事由に含めるよう基準をさらに修正することを希望する。

本変更は2026年5月1日より発効する。

46. Faccioli/Vlachによる動議 : ショー規則216.4.1の適切な文言を用いて修正された提案された (HHP) 品種標準の変更案を承認する。動議は満場一致で可決。

本変更は2026年5月1日より発効。別添参照。

NevarezがCOO報告書を提出。別添参照。

Cherauが2026 Annual、CPEキャットクラブ、カナダ・トロント、NW地区に関する最新情報を報告。別添参照。

47. ジャッジおよび 트레이ナーでボードに在籍する者は、理事会3回のうち2回に出席することを条件に、継続教育単位 (CEU) の要件を免除する旨のSchiff/Shonによる動議。

満場一致で可決。注記 - これはジャッジングプログラムに含めるべきである。

48. 本会議委員会からの退出について、全員一致で同意。異議なし。

49. Cardona, Nevarez, Torresを含む非公開会議へ移行に関する全会一致の同意。異議なし。

50. 非公開会議からの退出に関する全会一致の同意。異議なし。

51. 中央ヨーロッパ時間午後12時26分での散会に関する全会一致の同意。異議なし。